

第22期・第23期 新旧合同理事会 議事録

日時：2008年4月19日（土）13時～16時

会場：上智大学 四谷キャンパス 2号館 2-510

（第22期）

出席者： 須藤、赤堀、上杉、小田、窪田、棚橋、スチュアート、関、松岡、森山、山本、吉岡、和崎

委任状提出：大塚、春日、栗本、瀬川、富沢、永淵、松田、三尾

欠席者： 田中

（第23期）

出席予定者： 山本、赤堀、上杉、太田、岸上、葛野、窪田、栗田、桑山、坂井、佐々木、須藤、関根、
鷹木、名和、吉岡、和崎

委任状提出：大塚、鏡味、春日、瀬川、松田

* 下線は重任

〔承認事項〕

1. 前回（2007年度第6回）理事会議事録

〔議題〕

（新旧合同理事会）

1. 第23期理事の役割分担について
 - ・山本第23期会長候補より挨拶。第23期理事の役割分担について説明があり、承認された。
2. 総務会の職掌と構成について
 - ・小田理事より、資料にもとづき第22期理事会における総務会の職掌と構成について説明があった。
 - ・山本第23期会長候補より第23期理事会における総務会の職掌と構成について説明があり承認された。
3. 第22期理事会から第23期理事会への引継ぎ説明（全体）
 - ・須藤会長より第22期理事会の活動について総括的な説明がなされた。
 - ・小田理事より、2007年度事業報告について説明があった。空欄部分については各担当理事から上杉第23期庶務担当理事に連絡することとした。
 - ・棚橋理事より、2007年度決算について説明があった。特に次年度繰越金の増額分について、学会を取り巻く現状から2008年度予備費とするのに妥当な金額であることが説明された。
 - ・波平恵美子会員からの寄付の趣旨について質問があり、須藤会長より名称を波平基金とし、若手育成を目的とすることが説明された。
4. 第22期理事会から第23期理事会への引継ぎ説明
 - ・各委員会・担当の引き継ぎを新旧担当理事が個別に行った。

（第23期理事会）

5. 新入会員の承認について
 - ・2007年度第6回理事会以降の入会申込について、入会申込書を回覧し、会費納入済みの5人を理事会が承認した。他は会費未納入のため仮承認とした。次回理事会からは総務会で入会承認を行ない次の理事会で事後報告とすることを確認した。
6. 2008年度事業計画案の概要について
 - ・上杉庶務担当理事より、2008年度事業計画（案）について説明があり、次の理事会までに担当ごとに検討を行ない、変更があれば次回理事会までに上杉理事へ連絡することとした。
 - ・上杉理事より、日本学術振興会カイロ研究連絡センターの存続を求める要望書を須藤会長名で提出することが報告された。
 - ・森山前総務理事より、人類学関連学会協議会の幹事を本学会が引き受けることを第22期理事会にて回答した経緯に関する説明があった。第23期理事会でこれを担うことについて、検討の上、承認された。
 - ・葛野会計担当理事より、2008年度予算（案）について説明があり、各委員で検討の上、変更があれば5月10日までに葛野理事へ連絡することとした。

- ・葛野理事より、『文化人類学』（旧：民族學研究）（73巻～76巻の各巻1号、2号、3号、4号出版（直接出版費に限る）及び別冊”*Japanese Review of Cultural Anthropology*” Vol. 9～12出版（直接出版費に限る））の印刷に係る入札について説明と入札公告の掲示依頼があった。
- 7. 名誉会員候補者の選出について
 - ・日本文化人類学会名誉会員内規（第2条1項）に基づき2名の候補資格者がいることが説明され、承認された。他に推薦があれば次回理事会まで提案を受け付けることとした。また、名誉会員への推戴を辞退された方には毎年推戴のお伺いをたてることを確認した。
- 8. 第23期監事候補者の選出について
 - ・上杉理事より第23期総務会案が提示され、承認された。
- 9. その他
 - ・佐々木理事より、第43回研究大会（於・国立民族学博物館）からの査読制度の導入の可能性の検討を求める提案があった。会場のキャパシティ不足の懸念がある。しかし査読制の導入は慎重に行うべきであるという意見が大勢を占め、来年の大会にはプレセッションの開催やポスターセッションの可能性についても主催者側で検討してもらうこととなった。この経緯は研究大会運営検討委員会（新設予定の委員会）担当の大塚理事に伝えることとした。

(以上)